

現行 総合計画基本計画の評価資料  
(施策評価一覧)

R3.4.2.8  
参考資料No.2

施策コード	施策	成果指標	現状値	中間値		最終値	目標値	10年間の傾向	状況説明(各担当課の所見) 達成率=(最終値-現状値)/(目標値-現状値) ※基準値が既に目標を満たしている場合(現状維持) 達成率=最終値/目標値	原因(各担当課の所見)	KPI達成状況	主管課	関係課
			H22	H26	H30	H31(R1)	H33						
1-1	生活環境の保全	良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合	72.9%	78.8%	79.5%	77.8%	80.0%	改善傾向未達成	(状況)良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合は、77.8%で、前年比1.7ポイント減少した。基準値から1ポイント、目標値からは、2.2ポイント下回っているが、統計誤差の範囲内で推移している。 ・達成率 = 69.0%	(原因)アンケートでは、 <b>全年代で「思う」が70%を超えている</b> 。居住地区別に見ると、南団地や北団地などの比較的人口密度の高い地区では「思う」が80%を超えているが、旧市街地や、比較的人口密度の低い大野地区や高野地区で低い数値になっていることから、 <b>住んでいる地区で、環境に対する意識の違いが異なる</b> 。	2/6	生活環境課	財政課 経済課 生涯学習課 建設課
1-1	生活環境の保全	1契約1月当たりの平均電気使用量	360kwh/契約・月	306kwh/契約・月	—	—	288kwh/契約・月	—	平成28年度4月から、電力自由化に伴い販売データの提供が東京電力より受けられなくなったため、指標値の取得が出来なくなった。	生活環境課		財政課 経済課 生涯学習課 建設課	
1-1	生活環境の保全	自然環境に満足している市民の割合	71.9%	79.3%	82.7%	80.8%	81.0%	改善傾向未達成	(状況)自然環境に満足している市民の割合は80.8%で、前年度比1.9ポイント減となりましたが、基準値からは、1.5ポイント増となっている。 ・達成率 = 97.8%	(原因)アンケート結果を居住地区別に見ると、南団地や北団地などの比較的人口密度の高い地区では「満足している」が80%を超えていますが、旧市街地や、比較的人口密度の低い大野地区や高野地区で低い数値になっていることから「良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合」と同様に、 <b>住んでいる地区で、自然環境に対する意識の違いが表れている</b> 。		生活環境課	財政課 経済課 生涯学習課 建設課
1-2	循環型社会の形成	常総環境センターへのごみの搬入量(1人1日当たり換算)	751g/人・日	728g/人・日	721g/人・日	734g/人・日	667g/人・日	改善傾向未達成	(状況)常総環境センターへのごみの搬入量(1人1日当たり換算)は、平成24年度以降減少傾向でしたが、令和元年度は前年度比13g(1.8%)増加した。 ・達成率 = 79.8%	(原因)搬入量を前年度と月別に比較すると9月(前年比173t増)と3月(前年比180t増)に大きく増加している。この原因としては9月は、 <b>消費税増税に伴う買替等の増加</b> で、3月については、 <b>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内の小中学校が3月から休校になり、家庭で過ごす時間が増えたことや、外食を避けてテイクアウトが増えたため増加したものと考えられる</b> 。	1/6	生活環境課	なし
1-3	防災対策の推進	災害面で安全に暮らせると思う市民の割合	71.5%	80.5%	80.5%	77.3%	82.0%	改善傾向未達成	(状況)基準値、昨年度と比べて3.2ポイント減少し、災害に対して不安を感じている人が増えている。 ・達成率 = 55.2%	(原因)アンケートでは、8割近くの方が安全に暮らせる地域だと考えており、発災対応型訓練を継続して実施してきた結果、市や消防、災害対策協力会、自主防災組織等の防災対策への取組が浸透してきたものと考えられる。しかしながら、 <b>昨年のアンケート結果より減少しているのは、昨今の台風や大雨による災害の激甚化による市民の不安の現れと考えられる</b> 。	3/8	交通防災課	財政課 社会福祉課 介護福祉課 都市計画課 建設課
1-4	消防・救急の充実	火災発生件数(年間)	11件	10件	14件	19件	8件	未達成	(状況)基準値に比べ9件、昨年より5件増加している(建物13件、その他6件合計19件)が、内容的には野焼きなどによるほやの火災が増えている。 ・達成率 = -266.7%	(原因)野焼きやたばこの不始末、コンセントタップのたこ足配線など、ちょっとした気のゆるみや勘違いによる火災が増えたと考えます(火災発生件数の抑制は、消防署を中心とした市民活動が主であり、市の課題とすることは難しい)。	0/5	交通防災課	なし
1-4	消防・救急の充実	火災による死傷者数(年間)	2人	3人	0人	0人	0人	目標達成	(状況)死傷者はいませんでした。 ・達成率 = 100%	(原因)火災発生時の避難及び初期消火ができたことによると考えます(火災による死傷者数の抑制は、消防署を中心とした市民活動が主であり、市の課題とすることは難しい)。		交通防災課	なし
1-4	消防・救急の充実	市の救急体制が整っていると思う市民の割合	70.4%	77.3%	76.4%	77.2%	80.0%	改善傾向未達成	(状況)基準値と比べると0.1ポイント減少しているが、前年度と比べると0.8ポイント増加し、おおそ8割近くの市民が救急体制については満足している。 ・達成率 = 70.8%	(原因)車両・設備の維持管理とけが人等への的確な処置の訓練を継続して行い、迅速な救急出場と病院搬送に努めていることが原因と考える。しかし、「そう思わない」等の割合もおおよそ2割あり、消防署の救急体制の充実を継続的に働きかけていく必要があります(救急体制の充実には、消防署による対応のため、市の課題とすることは難しい)。		交通防災課	なし
1-5	交通安全の推進	人口千人当たりの交通事故発生件数(年間)	3.7件	3.0件	2.3件	1.8件	2.8件	目標達成	(状況)基準値と比べ1.18ポイント、昨年度と比べても0.51ポイント減少し、交通事故の少ないまちと考えられる。 ・達成率 = 208.9%	(原因)交通危険箇所にてLED防犯灯(照度確保)、カーブミラー、注意喚起看板等の設置を進め、 <b>継続的に街頭立哨等の啓発活動を実施</b> したことが原因と考える。	2/4	交通防災課	建設課 学校教育課
1-6	防犯対策の推進	人口千人当たりの刑法犯認知件数(年間)	14.9件	11.4件	7.7件	5.7件	10.0件	目標達成	(状況)基準値と比べると5.69件、昨年度と比べると1.96件減少しており、年々、犯罪が起きにくい街へと変化していると考えられる。 ・達成率 = 187.6%	(原因) <b>自治会や防犯連絡員</b> 等による継続的な防犯パトロール、防犯灯のLED化、防犯カメラの設置等による抑止力が要因と考えられる。	3/8	交通防災課	経済課 学校教育課 生涯学習課

施策コード	施策	成果指標	現状値	中間値		最終値	目標値	10年間の傾向	状況説明(各担当課の所見) 達成率=(最終値-現状値)/(目標値-現状値) ※基準値が既に目標を満たしている場合(現状維持) 達成率=最終値/目標値	原因(各担当課の所見)	KPI達成状況	主管課	関係課
			H22	H26	H30	H31(R1)	H33						
2-1	子育て支援の充実	安心して子育てができるまちだと思える子育て世帯の割合	74.3%	84.2%	84.7%	86.8%	85.0%	目標達成	(状況)前年度より2.1%増加している。 ・達成率=116.8%	(原因)児童センターや守谷駅前親子ふれあいルームの設置、地域子育て支援センターが行う親子で交流・活動ができる場の提供、保育所等におけるさまざまな保育サービスの提供などの充実を図っていることや、市内の公園が整備され、安心して遊べる場が多くあることが周知されていると考える。	4/7	児童福祉課	保健センター 生涯学習課
2-2	高齢者福祉の推進	自立高齢者の割合	89.4%	88.2%	88.2%	87.8%	90.0%	未達成	(状況)前年度比較で0.4ポイント減少しており、基準値と比較し0.4ポイント低い状況である。 ・達成率=-266.7%	(原因)高齢者に対する介護予防事業の推進、生きがいづくりや社会参加の促進のための高齢者福祉事業を進めていることから、近年指標値が維持できてきたが、後期高齢者の増加に伴い要介護(要支援)認定者数が増加しているため、成果指標値は微減したと考える。	1/9	介護福祉課	生涯学習課 経済課
2-2	高齢者福祉の推進	要支援認定者の現状維持・改善した人の割合	60.2%	90.8%	74.3%	74.3%	90.0%	改善傾向未達成	(状況)前年度比較で0.06ポイント減少しており、基準値よりも16.54ポイント低下している状況である。 ・達成率=47.2%	(原因)要介護(要支援)認定者は、80歳から増加し特に85歳以上の割合が高い状況となっている。要介護(要支援)認定者数が増加していることと併せて認定者の多くが心身の機能低下を起こしやすい年代層であることから、維持・改善の割合が横ばいになっていると考える。		介護福祉課	生涯学習課 経済課
2-3	障がい者(児)福祉の推進	安心して暮らしていると感じている障がい者(保護者)の割合	40.7%	69.2%	77.1%	69.6%	70.0%	改善傾向未達成	(状況)前年度と比較して、7.5ポイント減少した。 ・達成率=98.6%	(原因)アンケート調査のため対象者が毎年変わることなどで数値に変更はある。福祉サービスを利用することで安心感を得ていることが考えられるが、アンケートを行ったのが令和2年2月のため、新型コロナウイルス流行のニュースによる影響も考えられる。	5/8	社会福祉課	児童福祉課 保健センター 介護福祉課 指導室
2-3	障がい者(児)福祉の推進	市内のサービス提供延べ事業所数	—	35箇所	50箇所	55箇所	41箇所	目標達成	(状況)前年度と比較して、5箇所増加している。 ・達成率=333.3%	(原因)障がい福祉サービス事業所の内訳は、障がい福祉サービス事業所が34箇所増減なし、障がい児通所支援事業所が5箇所増で19箇所、基準該当事業所が2箇所増減なしである。事業所の事業種別はバランスよく配置されている。今後も、障がい者が増加することが見込まれますので、サービスの必要量を考慮した事業所の確保が必要になると考えられる。		社会福祉課	児童福祉課 保健センター 介護福祉課 指導室
2-4	健康づくりの推進	心身ともに健康だと感じている市民の割合	76.2%	77.8%	73.4%	75.6%	80.0%	未達成	(状況)昨年度と比較し2.2ポイント上昇し75.6%となっている。 ・達成率=-15.8%	(原因)目標値の80%を超えているのは、20歳代及び65歳から69歳のみとなっている。その他の年代は70%台となっており、全体的に心身ともに健康と感じている市民は多いが目標には達していない状況である。今後も事業の見直し、検討をしながら取り組む必要がある。	3/13	保健センター	児童福祉課 国保年金課 学校教育課
2-4	健康づくりの推進	生活習慣病の標準化死亡率	90.2	89.7	86.7	90.8%	89.7%	現状維持目標達成	(状況)昨年度と比較し4.1ポイント上昇した。 ・達成率=101.2% ※	(原因)全国と比較し有意に高い生活習慣病の死因はありませんでした。しかし、比較的、がんや循環器疾患による死亡率が高い傾向にあるので、引き続きがん検診や特定健康診査の受診率の向上、また効率のよい保健指導の推進が必要である。		保健センター	児童福祉課 国保年金課 学校教育課
2-5	地域福祉の推進	地域福祉活動でお互いに支え合うことができていると思う市民の割合	49.9%	50.6%	53.1%	52.4%	60.0%	改善傾向未達成	(状況)前年度と比較して、0.7ポイント減少している。 ・達成率=24.8%	(原因)この1年間で地域福祉活動に参加した市民の割合は1ポイント増加しているが、参加した活動が地域での支え合い活動としては十分でないと感じている方が多いものと考えられる。	1/8	社会福祉課	市民協働推進課 児童福祉課 保健センター 介護福祉課 生涯学習課
2-6	社会保障の健全運営	被保険者1人当たりの医療費・給付費(年間)(国民健康保険医療費+後期高齢者医療保険医療費+介護保険給付費)	1,216千円	1,325千円	1,341千円	1,385千円	1,465千円	改善傾向未達成	(状況)昨年度と比較して44千円増加した。目標値の範囲内である。 ・達成率=67.9%	(原因)国民健康保険医療費、後期高齢者医療医療費、介護保険給付費の全てが増加している。高齢率の上昇に伴い、医療・介護に要する費用が増加している。一方で、保健事業や介護予防事業などの取り組みが増加を低減していると考えられる。	9/10	国保年金課	納税課 社会福祉課 介護福祉課 建設課

施策コード	施策	成果指標	現状値	中間値		最終値	目標値	10年間の傾向	状況説明(各担当課の所見) 達成率=(最終値-現状値)/(目標値-現状値) ※基準値が既に目標を満たしている場合(現状維持) 達成率=最終値/目標値	原因(各担当課の所見)	KPI 達成 状況	主管課	関係課
			H22	H26	H30	H31(R1)	H33						
3-1	学校教育の充実	学校が楽しいと思う児童の割合(小学生)	95.0%	92.7%	93.8%	95.7%	95.0%	目標達成	(状況)昨年度よりも1.9ポイント上昇し、目標値を達成している。 ・達成率 = 100.7% ※	(原因)各学校が、 <b>学校教育プラン等に基づく教育活動</b> を通して、心身ともに健康で人間性豊かな人づくりを目指した教育活動を児童とともに <b>実践できている</b> 成果だと考える。	5/13	学校教育課	企画課 指導室 学校給食センター 生涯学習課
3-1	学校教育の充実	学校が楽しいと思う生徒の割合(中学生)	89.5%	85.8%	88.6%	90.9%	90.0%	目標達成	(状況)昨年度に比べ2.3ポイント上昇し、目標値を達成している。 ・達成率 = 280.0%	(原因)各学校が、 <b>学校教育プラン等に基づく教育活動</b> を通して、心身ともに健康で人間性豊かな人づくりを目指した教育活動を児童とともに <b>実践できている</b> 成果だと考える。		学校教育課	企画課 指導室 学校給食センター 生涯学習課
3-2	生涯学習の推進	生涯学習に取り組む市民の割合	38.9%	36.3%	40.1%	36.8%	45.0%	未達成	(状況)生涯学習に取り組む市民の割合は、昨年度から3.3ポイント減少しており、基準値と比較してほぼ増減がない状況である。 ・達成率 = -34.4%	(原因)中央公民館改修工事に伴い、 <b>公民館活動を行うサークル数が減少</b> した。また、構成員が高齢化し、新規サークルの発足もありませんでした。 市民が <b>活用しやすい施設環境の整備</b> や <b>参加しやすい講座設計</b> など、市民の自主的活動や参加を後押しする支援が必要である。	5/11	生涯学習課	企画課 市民協働推進課 生涯学習課
3-2	生涯学習の推進	日ごろからスポーツを行っている市民の割合	30.8%	31.8%	32.4%	31.4%	40.0%	改善傾向 未達成	(状況)日ごろからスポーツを行っている市民の割合は、昨年度から1.0ポイント減少しており、基準値と比較してほぼ増減がない状況である。 ・達成率 6.5%	(原因)スポーツに親しむきっかけづくりのために開催する <b>スポーツ教室に参加する年代が高齢化</b> している。子育て世代は「時間がない」などの理由でスポーツ活動に参加しない傾向が見られる。 <b>誰もがいつでも・どこでも・気軽にできるスポーツの紹介や体験できる機会を積極的に提供</b> する必要がある。		生涯学習課	企画課 市民協働推進課 生涯学習課
3-2	生涯学習の推進	図書館の貸出点数(年間)	81万4,403冊	86万4,539冊	98万5,254冊	97万6,305冊	90万0,000冊	目標達成	(状況)図書館(分室含む)における図書の貸出点数は、昨年度と比較して横ばいである。 ・達成率 = 189.1%	(原因)中央公民館図書室の休室(改修工事による)及び3月に新型コロナウイルス感染防止対策で中央図書館3階フロアの閉鎖や座席の制限を行ったため、貸出等の利用が減少した。今後は、 <b>電子書籍の提供にも力を入れながら、新しい生活様式での読書機会</b> を提供していきます。		生涯学習課	企画課 市民協働推進課 生涯学習課
3-3	人権の尊重	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	67.0%	69.1%	69.9%	68.1%	72.0%	改善傾向 未達成	(状況)前年度と比較して1.8ポイント減少しているが、統計誤差の範囲と考える。 ・達成率 = 22.0%	(原因)「人権が尊重されているまちだと思ふ」市民の割合が半数を超えている状況ですが、 <b>複雑化する人権問題の要因を一言で表すのは難しい状況</b> である。そのような中で成果の向上には、地道な教育や啓発活動の継続が必要である。	2/9	市民協働推進課	社会福祉課 児童福祉課 介護福祉課 生涯学習課

施策コード	施策	成果指標	現状値	中間値		最終値	目標値	10年間の傾向	状況説明(各担当課の所見)	原因(各担当課の所見)	KPI達成状況	主管課	関係課
			H22	H26	H30	H31(R1)	H33		達成率=(最終値-現状値)/(目標値-現状値) ※基準値が既に目標を満たしている場合(現状維持) 達成率=最終値/目標値				
4-1	調和のとれた市域の形成	調和のとれた土地利用がされていると思う市民の割合	61.9%	61.5%	67.2%	64.1%	62.0%	目標達成	(状況)前年度より3.1ポイント減少しているが、目標値は達成している。 ・達成率 = 103.4%	(原因)土地区画整理事業により計画的な街づくりを進めてきているため、成果は比較的安定していると考えられる。	4/5	都市計画課	企画課 建設課 交通防災課 生活環境課
4-2	緑を生かした景観の形成	緑被率(公園・樹林地・農地・草地・水面)	62.1%	62.0%	61.3%	61.2%	60.0%	目標達成	(現状)前年度との変化はほとんどなく、0.1%減少しているが、目標値は上回っている。 ・達成率 = 102.0%	(原因)保存緑地の指定や緑地の借入などを進め、緑の保全が図られているためと考えられる。	2/4	都市計画課	経済課 建設課
4-2	緑を生かした景観の形成	市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合	75.9%	75.4%	78.8%	76.5%	75.0%	目標達成	(現状)前年度より2.3%減少しているが、目標値は上回っている。 ・達成率 = 102.0%	(原因)保存緑地の指定、愛宕谷津の保全など、身近に緑を生かしたまちづくりと美しい景観を感じているものと考えられる。		都市計画課	経済課 建設課
4-3	道路網・公共交通体系の整備	市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合	69.3%	71.7%	74.5%	70.3%	75.0%	改善傾向 未達成	(状況)令和元年度の市内の道路は安全通行できていると感じている市民の割合は、70.3%で、昨年度と比較し、4.2ポイント減少している状況である。 ・達成率 = 17.5%	(原因)年々、交通量の増加により市民が危険と感じる箇所が増加していると思われる。	5/10	建設課	企画課 都市計画課
4-3	道路網・公共交通体系の整備	公共交通に対する市民の満足度	49.3%	48.6%	48.4%	45.3%	57.0%	未達成	(現状)前年度より3.1ポイント減少しております。 ・達成率 = -51.9	(原因)モコバス運行のルートの見直しにより、3ルートから2ルートへの減少が原因と考えられる。		建設課	企画課 都市計画課
4-4	上下水道の安定持続	安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合	83.6%	88.8%	89.5%	91.1%	90.0%	目標達成	(状況)昨年度との比較では1.6ポイント増加し、ほぼ同様となっている。目標値との比較では1.1ポイント上回りました。 ・達成率 = 117.2%	(原因)アンケートの結果、昨年度との比較では、石綿セメント管や鉛製給水管の更新工事を実施した守谷地区や南守谷地区で増加した。適切な更新事業への取り組みや、10月に上下水道料金の消費増税相当分を値下げしたことも満足度が高くなった要因と考えられる。	6/8	上下水道課	生活環境課
4-4	上下水道の安定持続	下水道放流水質基準の適合率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	(状況)昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100%である。 ・達成率 = 100%	(原因)浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業所排水調査に基づく適切な事業所への指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値を達成できたと考えられる。		上下水道課	生活環境課
5-1	農業の支援	経済活動別市町村内総生産額(農業)(年間)	1,226百万円	1,072百万円	—	—	1,230百万円	—	茨城県市町村民経済計算による指標により、目標達成度を適正に表すことができないため未記入(毎年度、最新の資料を用いて遡及推計することにより、基準値年度の数値についても修正が繰り返されているため)		1/4	経済課	農業委員会事務局
5-1	農業の支援	耕作放棄地面積	68.5ha	44.6ha	40.8ha	39.6ha	38.0ha	改善傾向 未達成	(状況)前年度40.8haであったものが39.6haとなり、前年度から1.2ha減少している。 ・達成率 = 94.8%	未記入		経済課	農業委員会事務局
5-2	商工業の活性化	製造品出荷額(年間)	2,142億円	2,469億円	—	2,894億円	2,700億円	目標達成	平成30年度の統計情報が未公表のため比較できない。		0/3	経済課	企画課 都市計画課
5-2	商工業の活性化	小売業販売額(年間)	799億円	896億円	—	—	1,035億円	—	平成26年度以降の統計調査情報が実施されていない。			経済課	企画課 都市計画課
5-3	集客資源の創出と充実	集客数(年間) (アサヒビール茨城工場・明治なるほどファクトリー・守谷見学者数+もりやアヤマ祭り・守谷市商工まつり~きらめき守谷夢彩都フェスタ~・ハーフマラソン参加者数)	207,723人	213,969人	155,731人	167,583人	235,000人	未達成	(状況)昨年度より、11,852人増加している。 ・達成率 = -147.2%	(原因)平成30年度は、台風の影響によりきらめき守谷夢彩都フェスタの来場者が大きく減少したため増加している。	1/3	経済課	生涯学習課

施策コード	施策	成果指標	現状値	中間値		最終値	目標値	10年間の傾向	状況説明(各担当課の所見)	原因(各担当課の所見)	KPI達成状況	主管課	関係課
			H22	H26	H30	H31(R1)	H33		達成率=(最終値-現状値)/(目標値-現状値) ※基準値が既に目標を満たしている場合(現状維持) 達成率=最終値/目標値				
6-1	地域コミュニティの充実	地域の課題解決に地域住民で取り組んでいると思う市民の割合	51.0%	51.9%	47.4%	45.0%	60.0%	未達成	(状況)前年度と比較して、2.7ポイント減少しているが、統計誤差の範囲と考えられるため、成果は横ばい状態である。 ・達成率 = -66.7%	(原因)成果が向上しない原因の一つとして考えられるのは、20代以下の若年層において「取り組んでいる」と思うと回答した方が約4%と低迷し、全体を引き下げているものと考えられる。	1/4	市民協働推進課	社会福祉課 児童福祉課
6-2	協働によるまちづくりの推進	市民・市民活動団体と行政が、協働でまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合	53.7%	58.4%	58.5%	56.6%	65.0%	改善傾向未達成	(状況)前年度と比較して1.9ポイント減少しているが、統計誤差の範囲と考えられ、成果は横ばい状態である。 ・達成率 = 25.7%	(原因)協働事業の認識が不足していると考えられるため、成果の向上には、協働事業として新たに取り組んでいる「まちづくり協議会」の活動が重要になってくると考える。今後は、まちづくり協議会の活動内容等の積極的な広報が必要である。	1/6	市民協働推進課	社会福祉課
6-3	広聴と情報発信の充実	守谷市を「終(つい)の住みか」としたいと感じる市民の割合	—	—	62.2%	59.9%	90.0%	未達成	(状況)前年度からは2.3%の低下となり、成果は横ばいである。目標値である90%とは大きな差が出ている状態にある。 ・達成率 = -8.3%	(原因)アンケートの結果を見ると、 <b>出生地や在住期間に関係なく、「どちらともいえない」という回答が多くなっている</b> 。このことから「守谷市に住みたくない」という方は少ない状況である一方、 <b>永住意識につながるような市の魅力が、「どちらともいえない」という層にうまく伝わっていない</b> ことが、成果が向上していない要因と考えられる。	0/3	秘書課	総務課 企画課
6-3	広聴と情報発信の充実	市民と行政との間で、市政情報が適切に共有されていると感じる市民の割合	67.5%	74.3%	73.2%	71.6%	80.0%	改善傾向未達成	(状況)前年度からは1.60%の低下となり、成果は横ばいである。 ・達成率 = 32.8%	(原因)アンケートの結果を見ると、 <b>在住期間20年以上30年未満の方の数値が低い</b> 傾向にあり、長期間守谷市に住んでいる方のほうが、適切な共有がなされていないと感じていると考えられる。また、20歳代の方にも同様の傾向が見受けられる。		秘書課	総務課 企画課
7-1	適正な行財政運営の推進	総合計画に掲げた成果指標が目標値を達成できた施策の割合	48.3%	52.2%	31.7%	33.3%	100.0%	未達成	(状況)平成30年度と比較して1.63ポイント上昇した。 ・達成率 = -29.0%	(原因)指標を確認できる <b>42指標中14指標が令和3年度の目標値を達成した</b> 。平成30年度対比で、指標を確認できるものが1指標増加し、その中で新たに達成した指標が4つ、達成から未達成になった指標が3つである。達成から未達成となった3つの指標を含む施策(生活環境の保全、障がい者(児)福祉の推進、健康づくりの推進)は、数値が若干下がり未達成となった。	4/12	企画課	総務課 秘書課 財政課 税務課 納税課 総合窓口課 市民協働推進課 会計課 議会事務局
7-1	適正な行財政運営の推進	基礎的財政収支指数(プライマリーバランス)	1.19	1.14	1.13	1.13	1.00以上	現状維持目標達成	(状況)平成30年度と同じ1.13でした。 ・達成率 = 113.0% ※	(原因)既借入分の償還額が新規借入額を上回っているため、目標値である1を超えている。新規借入額は平成30年度よりも増加した一方で、 <b>公債費が減少しているため、本来なら指数は悪化しますが</b> 、市債以外の歳入が増加した結果、プライマリーバランス自体は変わりませんでした。		企画課	総務課 秘書課 財政課 税務課 納税課 総合窓口課 市民協働推進課 会計課 議会事務局
7-2	組織経営と人事マネジメントの充実	職員の仕事ぶりに不満を感じていない市民の割合	82.7%	87.4%	87.6%	86.3%	88.0%	改善傾向未達成	(状況)昨年の市民アンケートの数値と比較し1.27ポイント減少している。統計誤差の範囲ですが基準値を下回っている。50歳代以上では目標値を達成しているが、20~40歳代で目標値より3ポイント程度低い数値である。地域別では、みずき野地区が84.78%、北守谷地区が83.25%と他地域と比較し低い数値となっている。 ・達成率 = 67.5%	(原因)基準値と目標値の差が0.6ポイントであるため、統計誤差の範囲であり、原因の特定が困難ですが、 <b>子育て世代及びこれから急速に高齢化が進展する地域の市民から評価が得られていない</b>	0/3	総務課	なし
7-2	組織経営と人事マネジメントの充実	多様なニーズに対応できる組織だと思っている市民の割合	52.1%	59.8%	59.4%	59.3%	68.0%	改善傾向未達成	(状況)昨年の市民アンケートの数値と比較し0.09ポイント減少しますが、ほぼ差がない状況である。また、基準値と比較しても差がない状況である。20歳代及び40歳代の数値が低く、職業別では事務職、労務職、アルバイト等が低い状況である。 ・達成率 45.5%	(原因)昨年度と比較して統計誤差の数値であるものの、昨年度とクロス集計の特徴が異なっているため、原因の特定は困難ですが、 <b>子育て世代及び共稼ぎ世帯から評価が得られていない</b> ことが原因であると推測する。		総務課	なし